

～禁煙外来～

若者も保険適用になりました!



細木病院診療部長
・呼吸器内科部長
白神 実

◆4月からの診療報酬改定で 算定要件が見直し

昨年(2015年)のじんせい8月号でも紹介しましたが、保険診療で禁煙外来を受診するには、これまで次の条件が必要でした。

- ①直ちに禁煙しようとしていること。
- ②タバコ依存症テストによりニコチン依存症と診断されていること。
- ③プリンクマン指数(1日の喫煙本数×喫煙の年数)が200以上であること。
- ④禁煙治療を受けることを文書により同意すること。

以上の条件を全て満たしている方は、保険適用が可能で、これ以外の方は、残念ながら、自由診療(自費)となっていました。また、この状況に対して、20歳以上でプリンクマン指数が200未満の患者さんに対しては、高知県の画期的な独自の支援制度があることも合わせてご紹介しました。

このたび、今年4月の診療報酬改定により、ついに、35歳未満の患者さんについては、プリンクマン指数が200以

上の要件が撤廃されました。これは禁煙治療を実施している者としては、極めて画期的なことなのです。一般社団法人日本禁煙学会が、塩崎恭久厚生労働大臣と中央社会保険医療協議会宛てに感謝状を贈ったほどです。

◆未成年者への禁煙治療に光明

今回の改定によって、喫煙年数の少ない患者さんにも、ようやく禁煙外来の保険適用が認められました。これは、20歳代の若い世代の禁煙治療は、保険診療で可能になったというだけでなく、未成年者への適用拡大ということを意味しています。

今までも、年間数人の未成年者から禁煙の相談がありました。自由診療で全額自費ということを受診に至らない方や、通常の診察で禁煙について相談に乗りますが、市販の禁煙補助薬などを紹介することしかできませんでした。

禁煙は喫煙年数が短ければ短いほど、成功する確率が高いのは皆さんも容易に想像できると思います。未成年のうちに禁煙治療をすれば、禁煙できる可能性は高いのです。

喫煙の低年齢化は以前より指摘されていますが、小学校の高学年の場合、30人学級でクラスに1人喫煙している生徒がいても不思議ではない状況なの

です。私はこれまでも数回、小学校や中学校の「防煙教室」で、タバコの害など禁煙の話をしてはいますが、その後の禁煙治療に関しては、未成年には実施できない状況でした。今回、この状況にやっと光明が見えてきたのです。

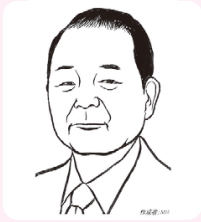
しかし、課題もあります。高校生は体格も大人に近く、精神的にも成長しているため、禁煙補助剤を成人と同量で使用する今までの治療でも大きな問題は無いと思います。中学生以下に関しては、ニコチンパッチは使用の報告もありますが、禁煙補助薬の内服薬は未使用で、実際の治療をどうするかはこれからの課題だと思います。さらに未成年のため、費用負担は実質的に親が負担しますが、多くの場合、両親のどちらかあるいは両方が喫煙者の場合が多いため、禁煙に理解不十分の場合があります。今後はこれらの問題についても、社会的、教育的問題として考えていかなければならないと思います。

禁煙治療につきましては、細木病院、細木ユニティ病院または三愛病院の禁煙外来まで、お気軽にご相談ください。



時 事
エッセー

マヤの整体師



仁生会理事長
細木 秀美

昨年、娘と孫の住むメキシコ合衆国の南端、カリブ海沿岸のキンタナ・ロー州の州都、チェトゥマルへ出掛けた。国際会議で有名なりゾート地カンクンは、このキンタナ・ロー州の北端に位置する。日本から片道 16 時間で、待ち時間を入れると 20 時間もかかって到着した街は、人口 35 万人ほどで、治安も結構良かった。1 週間滞在し、孫とも遊んだが、娘婿の友人にマヤの整体師の方がおられて、紹介されたので、施術を受けてみた。日本では一度も整体やマッサージを受けた経験のない私には、不安と少しの恐怖心があった。しかし、受けしてみると、気持ちの良い感覚に満たされ、しかもアロマオイルの香りの中、ゆったりした時間が流れた。スペイン語で色々話してくれたが、全く分か

らない。娘が通訳してくれて、気分はどうかと聞いてくれる。細かい気配りのできる方だった。また、中国の気功のように、手をかざして悪い所を治療する方法もあるらしい。

マヤ文明は紀元前 3000 年ほどから始まり、16 世紀にスペイン人によって滅ぼされるまで続いた文明である。マヤ文明の中でも「マヤの暦」が特に有名で、1 年が 365 日と 0.2421 日という現在の暦と殆ど変わらない正確さで、1 年間の長さを天体観測だけで決めていて驚いたことがある。

メキシコ南部には、マヤの総本山的なトゥルム遺跡や大きなピラミッドで有名なチチェン=イツア遺跡があるが、そこでも日本人は全く見掛けなかった。この地方では、私たちが外人で、ジロジロ見られたが、反面、とても親切で、遺跡の博物館やプラネタリウムなどを堪能し、孫と土佐弁で遊ぶことができた。

ているか」への反響から集まった浄財を元に、地域社会の医療振興のために取り組む方への援助を目的として平成元年 8 月に設立されたもの



左から、「デイサービスいろは」大野裕美介護福祉士・臨床美術士 5 級、小松雅理あうん高知副施設長、竹口伸也「デイサービスいろは」主任介護福祉士

この基金は、高知新聞に連載の「生命は守られているか」への反響から集まった浄財を元に、地域社会の医療振興のために取り組む方への援助を目的として平成元年 8 月に設立されたもの

この基金は、高知新聞に連載の「生命は守られているか」への反響から集まった浄財を元に、地域社会の医療振興のために取り組む方への援助を目的として平成元年 8 月に設立されたもの

※「臨床美術」及び「臨床美術士」は、日本における(株)芸術造形研究所の登録商標です。

二愛病院の通所介護事業所「デイサービスいろは」は、「臨床美術の導入による認知症力フエ活動、活性化の試み」というテーマで、生命の基金へ平成 27 年度助成金の申請を行いました。高知県内の 12 団体に對して、合計 813 万円の助成が決定し、各団体の代表者とともに、3 月 28 日に高知新聞放送会館での助成金贈呈式に出席しました。

この基金は、高知新聞に連載の「生命は守られているか」への反響から集まった浄財を元に、地域社会の医療振興のために取り組む方への援助を目的として平成元年 8 月に設立されたもの

二愛病院の通所介護事業所「デイサービスいろは」は、「臨床美術の導入による認知症力フエ活動、活性化の試み」というテーマで、生命の基金へ平成 27 年度助成金の申請を行いました。高知県内の 12 団体に對して、合計 813 万円の助成が決定し、各団体の代表者とともに、3 月 28 日に高知新聞放送会館での助成金贈呈式に出席しました。

三愛病院

「デイサービスいろは」への『生命(いのち)の基金』助成決定!!

細木病院

医療安全研修会 「医療安全の基礎知識」開催

3月24日～30日に6回し、「医療安全施策の動向」「当院の医療安全管理指針」「ヒューマンエラーと防止対策、その取り組み事例」の内容で実施しました。

研修後、職員からは、「指針があることは知っているが、詳しい内容までは知らなかったため、理解が深まった」「研修を定期的に受けることで改めて意識し、行動につながる事ができる」などの意見があり、指針

についての定期的な勉強会の開催は必要だと考えさせられました。また、ヒューマンエラー防止対策手段として、危険予知訓練(KYT)について簡単に説明を行い、在宅



研修会の講師を務める井上富美医療安全管理者

井上富美
管理者

細木病院

春の糖尿病ウォーキング開催

3月26日、高知に桜の花の便りが届いた頃、春の糖尿病ウォーキングが開催されました。糖尿病ウォーキングは、当院受診中の糖尿病患者さんに、運動、糖尿病食、血糖の変化を体験し、運動や栄養などに関する理解を深めていただくことを目的に、毎年春と秋の年2回開催しています。今回は、参加者11名、スタッフ15名、計26名で細木



参加者の平均血糖値は、ウォーキング前180mg/dl、昼食前130mg/dl、食後3時間後153mg/dl、500kcalと低カロリーですが、季節の旬の物が入ったりと写真の通り豪華なお花見弁当です。次回は秋に開催予定です。興味をお持ちになりました方は、内科外来までお気軽にお問い合わせください。

(理学療法士 西山理奈)

細木病院

平成27年度1年目
初期臨床研修を振り返って



研修医 七野 雄一

細木病院で研修生活が始まり、早くも1年が経ちました。この1年は、学生から社会人へと環境が大きく変わり、その環境に馴染むことに必死でした。日々学ぶことが多く、自分の力不足に悩まされながらも、周囲の方々に世話になりつつ充実した研修をさせていただきました。

同期の研修医は3人と少人数なので、何か迷ったことがあれば相談したり教えあったり、飲みに行ったり遊びに行ったりしながら楽しく過ごすことができました。1年先輩の研修医の先生方とは医局が同じということもあり、すぐに打ち解けることができました。困ったときなどにもすぐ相談に乗っていただいたり、とても頼れる存在で、1年の差がこんなに大きくなった。今年からは、先輩の研修医から同じように思われるように振る舞いを考えたいと思います。

研修医でいられる時間はあと1年と限られています。この1年と限られています。先輩の先生方から指導を受けて、自分自身も指導者として成長したいです。1年経過後もまだまだ分からないことだらけです。これからもご指導をお願いいたします。



研修医 森本 伶美

この1年間は、新しい土地で社会人となり、さまざまな人との出会いの中で、新しい考え方や発見が多くあり、学びの多い毎日でした。去年の今頃、何も分かっていない私に、丁寧に一から教えてくださいました。先輩方や指導医の先生方には、大変なご苦労をお掛けしました。反省と感謝の



研修医 田中 浩史郎

去年の4月から細木病院の初期臨床研修医として働き始め1年が経過しました。まず1年を振り返って頭に浮かぶことは、細木病院を中心

気持ちでいっぱいです。また、常識外れなところが多い私に、優しく色々なことを教えてくださり、心配をしてくださった事務の方々やコメディカルの皆様にも心から感謝しております。プライベートでもフットサルやバドミントン、マラソンなどで、色々な職種の方と楽しい時間を過ごせたことを幸せに思います。同期の2人も細木病院で出会い、貴重な時間を共有できて感謝しています。

最初に細木病院で、働くと、色々な病院で研修をさせていただきまして、細木病院の雰囲気、指導医の先生方や周りのスタッフの優しさや、教えられるほどの細木病院で研修して良かったということ。1年間の反省としては、受け身に回ることが多く、積極的に自分から

く楽しさやコメディカルの方々と関わる大切さを知ることができたので、他の研修病院でも充実した時間を過ごすことができました。日々勉強不足を実感し、この1年間は、①疑問に思う。②自分の持っているもので考える。③解決できることあるかもしれないと行動に移し、生きた力にする。この3点の重要性を特に実感しました。この中で①が最も難しく、スタンダードを守って同じことをやっていないと、色々な病院で研修をさせていただきまして、細木病院の雰囲気、指導医の先生方や周りのスタッフの優しさや、教えられるほどの細木病院で研修して良かったということ。1年間の反省としては、受け身に回ることが多く、積極的に自分から

木
院
細
ニ
病

デイ・ケア「フレンズ」
第6回DAY展で受賞続出！
グランプリ2点・佳作2点

3月1日～3日、高知市文化プラザかるぼーとで、第6回DAY展が開催され、細木ユニティ病院精神科デイ・ケア「フレンズ」が出品した作品から、グランプリ2点、佳作2点が選ばれました。

芸、絵画、書道、陶芸、手工芸などの作品展です。作品は施設ごとに出品・展示され、今回は11施設が参加していました。審査は、DAY展実行委員が「創造性（おもしろい）」「技術力（うまい）」「個性（変わっている）」の3つの視点から票を入れ、票の多かつた順にグランプリ、準グランプリ、佳作が選ばれます。

DAY展は、高齢の人や障害のある人が「楽しく創る、楽しく生きる」ことを目標とした、文

審査は、DAY展実行委員が「創造性（おもしろい）」「技術力（うまい）」「個性（変わっている）」の3つの視点から票を入れ、票の多かつた順にグランプリ、準



澤田貴さんの
佳作作品『ヘビ』



尾碕麗花さん(左)と
グランプリ作品『花夢鳥月』
右はデイ・ケア「フレンズ」で絵画を
指導する松林由味子先生



浜田周二さんの
佳作作品『月の桂』



岡村かおりさんと
グランプリ作品『安』



青潮賞・
高知県美術振興会奨励賞
『青年』山脇 善

彼にとつて、休日には貴重な時間ですが、その時間を費やして快くモデルに

作品のモデルは、細木ユニティ病院の臨床心理士の米本竜太郎さんです。彼のきりっとした顔立ちや頭の形などを見てみると、内側から溢れる生命力が感じられ、「いい彫刻になりそうだ」と思っていました。さらに彼の存在そのものに現代

が感じられ、「2016年1月から2月にかけて、休日の午前中に計11回モデルになってもいいました。若い彼にとつて、休日は貴重な時間ですが、その時間を費やして快くモデルに



モデルを務めた臨床心理士の米本竜太郎さんと作者の山脇善さん(右)

年の今を彫刻で表現できるのではないかと感じていました。しかし相手は職場の先輩ですが、なかなか「モデルになってください」と言えませんでした。が、ある日、意を決して頼むと、思いのほか快諾してくれたのです。彫刻は、あらゆる角度からモデルを見て制作するため、ひとつの作品を作るために、絵画に比べて何倍もの時間を要します。今回の制作でも、今年の1月から2月にかけて、休日の午前中に計11回モデルになってもいいました。若い彼にとつて、休日は貴重な時間ですが、その時間を費やして快くモデルに

第36回高知県女流展
細木ユニティ病院の職員が青潮賞を受賞！

感謝しています。

制作は、彫刻の仲間6人と、筆山文化会館の共同アトリエで行いました。仲間の多くは高齢ですが、米本さんの謙虚でやさしい人柄にひかれて、今までにないほど楽しい制作でした。米本さんも「彫刻の制作は、まるで心の中を描くようですね」と興味を持ってくれました。

制作は、彫刻の仲間6人と、筆山文化会館の共同アトリエで行いました。仲間の多くは高齢ですが、米本さんの謙虚でやさしい人柄にひかれて、今までにないほど楽しい制作でした。米本さんも「彫刻の制作は、まるで心の中を描くようですね」と興味を持ってくれました。

制作は、彫刻の仲間6人と、筆山文化会館の共同アトリエで行いました。仲間の多くは高齢ですが、米本さんの謙虚でやさしい人柄にひかれて、今までにないほど楽しい制作でした。米本さんも「彫刻の制作は、まるで心の中を描くようですね」と興味を持ってくれました。

制作は、彫刻の仲間6人と、筆山文化会館の共同アトリエで行いました。仲間の多くは高齢ですが、米本さんの謙虚でやさしい人柄にひかれて、今までにないほど楽しい制作でした。米本さんも「彫刻の制作は、まるで心の中を描くようですね」と興味を持ってくれました。

制作は、彫刻の仲間6人と、筆山文化会館の共同アトリエで行いました。仲間の多くは高齢ですが、米本さんの謙虚でやさしい人柄にひかれて、今までにないほど楽しい制作でした。米本さんも「彫刻の制作は、まるで心の中を描くようですね」と興味を持ってくれました。

制作は、彫刻の仲間6人と、筆山文化会館の共同アトリエで行いました。仲間の多くは高齢ですが、米本さんの謙虚でやさしい人柄にひかれて、今までにないほど楽しい制作でした。米本さんも「彫刻の制作は、まるで心の中を描くようですね」と興味を持ってくれました。

制作は、彫刻の仲間6人と、筆山文化会館の共同アトリエで行いました。仲間の多くは高齢ですが、米本さんの謙虚でやさしい人柄にひかれて、今までにないほど楽しい制作でした。米本さんも「彫刻の制作は、まるで心の中を描くようですね」と興味を持ってくれました。

制作は、彫刻の仲間6人と、筆山文化会館の共同アトリエで行いました。仲間の多くは高齢ですが、米本さんの謙虚でやさしい人柄にひかれて、今までにないほど楽しい制作でした。米本さんも「彫刻の制作は、まるで心の中を描くようですね」と興味を持ってくれました。

制作は、彫刻の仲間6人と、筆山文化会館の共同アトリエで行いました。仲間の多くは高齢ですが、米本さんの謙虚でやさしい人柄にひかれて、今までにないほど楽しい制作でした。米本さんも「彫刻の制作は、まるで心の中を描くようですね」と興味を持ってくれました。

制作は、彫刻の仲間6人と、筆山文化会館の共同アトリエで行いました。仲間の多くは高齢ですが、米本さんの謙虚でやさしい人柄にひかれて、今までにないほど楽しい制作でした。米本さんも「彫刻の制作は、まるで心の中を描くようですね」と興味を持ってくれました。

制作は、彫刻の仲間6人と、筆山文化会館の共同アトリエで行いました。仲間の多くは高齢ですが、米本さんの謙虚でやさしい人柄にひかれて、今までにないほど楽しい制作でした。米本さんも「彫刻の制作は、まるで心の中を描くようですね」と興味を持ってくれました。

制作は、彫刻の仲間6人と、筆山文化会館の共同アトリエで行いました。仲間の多くは高齢ですが、米本さんの謙虚でやさしい人柄にひかれて、今までにないほど楽しい制作でした。米本さんも「彫刻の制作は、まるで心の中を描くようですね」と興味を持ってくれました。

制作は、彫刻の仲間6人と、筆山文化会館の共同アトリエで行いました。仲間の多くは高齢ですが、米本さんの謙虚でやさしい人柄にひかれて、今までにないほど楽しい制作でした。米本さんも「彫刻の制作は、まるで心の中を描くようですね」と興味を持ってくれました。

制作は、彫刻の仲間6人と、筆山文化会館の共同アトリエで行いました。仲間の多くは高齢ですが、米本さんの謙虚でやさしい人柄にひかれて、今までにないほど楽しい制作でした。米本さんも「彫刻の制作は、まるで心の中を描くようですね」と興味を持ってくれました。

制作は、彫刻の仲間6人と、筆山文化会館の共同アトリエで行いました。仲間の多くは高齢ですが、米本さんの謙虚でやさしい人柄にひかれて、今までにないほど楽しい制作でした。米本さんも「彫刻の制作は、まるで心の中を描くようですね」と興味を持ってくれました。



木
細
ユニティ病院

ユニティ祭2016

5月27日(金)開催

ユニティ祭 2016
5月27日(金)
10時~15時 出店 販売 場所:作業療法室 病院裏側駐車場
14時~15時 イベント 場所:6階ホール
出演:7ルチャック コニヤ (7ルチャック音楽グループ)
10時30分~13時 お茶会 in デイケアアラズ (喫茶) 100名様 お茶:お茶50円セット50円 場所:2階デイケア室

細木病院

第24回
糖尿病セミナー

6月4日(土)
開催

細木病院は、患者さんが糖尿病とうまくつきあっていくためにはどうすればよいか一緒に考え、より良い糖尿病診療を目指しています。毎年開催している糖尿病セミナーには、多くの方にご参加いただいています。今年も、6月4日(土)午前9時~午後1時に、当院新館地下1階で開催します。

今年の講演は、『当院における糖尿病に対する取り組み』です。当院の

第24回細木病院糖尿病セミナー「糖尿病とうまくつきあうために」

日時:平成28年6月4日(土) 午前9:00~午後1:00
会場:細木病院 新館地下1階 (高知市大膳町37 電話 088-822-7211)

参加費:無料
~当院における糖尿病に対する取り組み~
医師・看護師・臨床検査技師・薬剤師・管理栄養士
理学療法士・地域連携室
講演は10:30開始です。

※その他、自由に体験できる企画もあります!

内容	職種
インスリンデモ機の展示	薬剤師
運動の体験	理学療法士
血糖測定	臨床検査技師
栄養士による栄養指導	管理栄養士
身体計測、フットケア	看護師

(高知市大膳町37 電話088-822-7211)

活動を患者さんに知っていただき、相談していただけたら嬉しく思います。講演時間は、午前10時30分より約60分間の予定です。

また、会場では、身体測定、血糖測定などの健康チェックと、運動の体験、インスリンデモ機の

細木ユニティ病院では、病院と地域が一体となって楽しめる交流の場「ユニティ祭」を毎年開催しています。今年も5月27日(金)午前10時から午後3時までです。1階作業療法室では、地域の作業所や病院職員、患者さんによる食品や物品の販売、2階デイケア室では、先着100名様に、お茶とお菓子のセット50円で、お茶会を開催します。午後からは、6階ホールにて、患者さんや小高坂双葉園の園児の皆さんによる音楽発表や、アイルランド音楽グループ「ケルティックユニティ」の演奏などを予定しています。皆様お誘い合わせのうえ、ぜひお越しください!

展示、栄養に関係した展示を行い、質問にもお答えします。さらに、セミナー参加者のうち希望者には、手打ちそばランチを200円で提供させていただきます。そのほかの参加費は無料です。ぜひご参加ください。

細木ユニティ病院

音楽療法コンサートのご案内

音楽には人の心を癒し元気づける力があります。音楽療法は、音楽の持つ力を活用しながら、心身の健康維持・増進、生活の質の向上を促進する療法です。

細木ユニティ病院では、月2回ほど、S館6階で音楽療法コンサートを開催しています。無料で公開していますので、一般の方もお気軽にお越しください。

*駐車場はありません。公共の交通機関をご利用ください。

第358回 ◆ 歌の集い
6月17日(金) 午後2時
出演:ジューラソール
童謡、唱歌、歌謡曲など、さまざまな歌をお届けします。

第357回 ◆ トイピアノ & マリンバの響き by 音旅舎Duo
6月3日(金) 午後2時
出演:畑 奉枝 (トイピアノ&ピアノ)
椎名友樹 (トイ打楽器&マリンバ)
畑さんは、ピアノとトイピアノを用いたマルチピアノ奏者として独自の演奏活動や、作詞作曲、全国各地の舞台イベント、フェスティバルやイベント等に数多く出演されています。椎名さんは、クラシックからジャンル音楽まで幅広いジャンルで活動されています。



ご存じですか!? ソーシャルワーカーからのミニ情報

家族介護用品の支給について

在宅生活を送る高齢者の介護者であるご家族

に、おむつなどの介護用品代として「家族介護用品引換券」を給付する制度があります。対象者は、①介護保険の認定が「要介護3~5」に認定された方で、原則として利用者と家族が同居している。②利用者のご家族の市町村民税が非課税である。③自宅で生活している方です。ただし、入院中は利用できません。要介護3では月額5,000円、要介護4・5では月額8,000円のものがあります。引換券が支給されます。引換券は、おむつやおしり拭き、介護用防水シート、尿器、食器、食器用エプロン等の購入に利用できます。担当ケアマネジャーまたは地域包括支援センター、市町村担当窓口で相談を受け付けています。ご不明な点は、上記または細木病院患者サポート室までお問い合わせください。(地域連携推進センター 患者サポート室主任 陶川多映)

